

平成 22 年 3 月 10 日

報道関係各位

特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム

チャリティ・プラットフォームの新プロジェクト。
世界最大級の寄付サイト JustGiving
2010 年 3 月 9 日
いよいよ日本でサービスを開始致しました。

JustGiving Japan™

—— あなた発のチャリティ・プロジェクト。 ——

2010 年 2 月 19 日、特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム（東京都港区、代表理事佐藤大吾）が設立者として設立された一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン（東京都港区、代表理事：湯本優、以下、ジャスト・ギビング・ジャパン）は、2001 年英国で始まった世界最大級の寄付仲介サイト JustGiving のサービスの日本版を、3 月 9 日にオープン致しました。JustGiving は非営利団体を支援するために、ユーザー自らがマラソンやダイエットなどチャレンジをすることで、友人や知人に寄付を呼びかけるという仕組みです。英国ではこれまでに 1000 万人以上が利用し、ロンドンマラソン出場者の 70%以上が活用しています。チャリティ・プラットフォームでは、私たちの目標である寄付文化創造のために、「このような取り組みを日本でもできないか…」と、約 1 年をかけて検討・研究し、英国 JustGiving との交渉を続け、いよいよこの春、日本でのサービス開始を行うことができました。詳しくは <http://justgiving.jp/> をご覧ください。

サービスローンチ当日、ホテルフロラシオン青山にて、JustGiving のメインプロジェクトである、走ることを通じて寄付を集める「Run for Charity」の発表イベントが行われました。

発表イベントには、初のチャレンジャーとなる古田敦也氏（元プロ野球選手）をはじめ、この取り組みにご賛同いただいた有森裕子氏（元マラソン選手）、伊倉氏（相模原ライズ）、金哲彦氏（ランニングコーチ）、長塚智広氏（競輪選手）、新妻聖子氏（ミュージカル女優）をゲストにお迎えし、チャレンジ内容や想い、JustGiving への期待などを、熱く語っていただきました。一方、会場に駆け付けた報道陣は 60 名を超え、盛大なイベントとなりました。

Run for Charity のチャレンジャーは、支援したい団体に直接寄付を行う代わりに、自分のチャレンジ（＝Run）を介して友人・知人・ファンに寄付を呼びかけます。マラソンやトライアスロンなど、すでに出場が決まっている大会で目標を設定していただき（優勝・完走・〇〇分台のタイムを出す等）、そのチャレンジのために頑張る様子を自身のブログ等、メディアを使って友人・知人・ファンに発信していただきます。チャレンジ内容については、大会への参加には限らず日常において取り組めるものなど、「Run」にまつわるチャレンジであれば制限はありません。

本企画の最初のチャレンジでは、元プロ野球選手の古田敦也氏が、5 月にハワイで、トライアスロンにチャレンジすることで、自分を応援してくれるファンの皆様に対して寄付を呼びかけます。集まった資金は若者の自立支援に取り組む「NPO 法人 侍学園スクオーラ・今人」に寄付されます。詳しくは <http://run.justgiving.jp/> をご覧ください。



CHARITY PLATFORM

ブログ、SNS、つぶやき・・・。
いまや誰でも発信者になれる時代。
それなら個人から始まる
チャリティだってあってもいいはず。
誰かに感化されて動くのではなく、
あなたが誰かを動かすチャリティがあってもいいはず。
参加者から、主催者へ。
それは、あなたが主体となる、新しいチャリティのカタチ。



Run for Charity

あなたが走る。みんなが育てる。

<JustGiving Japan についてのお問い合わせ先>

JustGiving Japan プロジェクト運営事務局（特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム内） 鈴木
電話:03-5770-3150 FAX:03-5770-0531